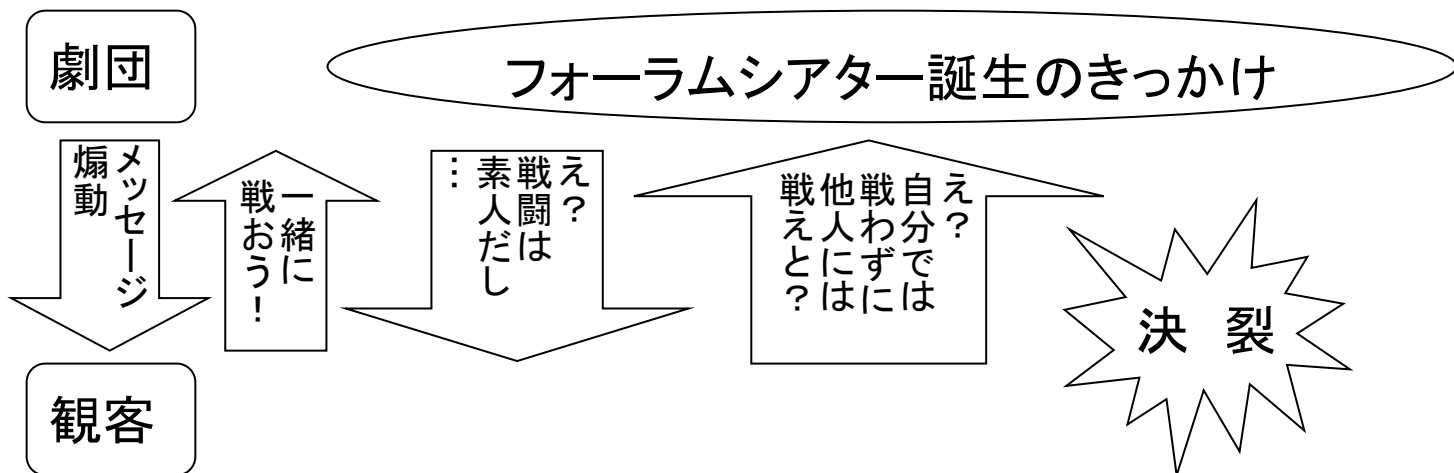


「フォーラムシアター」～1人1人がアイデアを出し合って進める ワークショップ型演劇～

13. 9. 14 松田裕樹 matsudah@osaka.email.ne.jp <https://www.facebook.com/matsudah>

■ブラジルのアウグスト・ボアール(1931-2008)が1970年代に編み出した手法



自分が同じリスクを取る気もないのにメッセージを一方向的に伝える演劇は、時として無責任

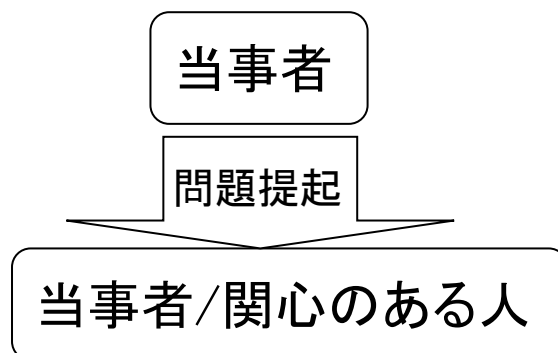


当事者が自分たちで状況を変えるためにはどうすればいいのか、自分たちで知恵を出し合い、考えるための手法へ (演劇を活用した問題解決のファシリテーション)

■フォーラムシアターの進め方

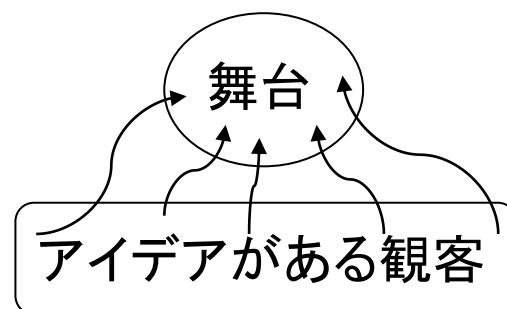
- 1、問題提起のために、問題が起こって、解決しないまま終わってしまう、アンハッピーエンドな劇を作っておく
(できれば問題の当事者が自ら作り、自ら演じる)

- 2、その問題の当事者や関心のある人たちに、観客として集まってもらう



- 3、1度目の劇の上演。どうすれば問題を解決できるか考えながら観てもらおう。(解決しないまま終わってしまうので、観客はすっきりしない。むしろ「何とかしたい!」と思ってもらう)
- 4、観客への呼びかけ:「登場人物の代わりに、あなたならどうしますか? 何とかしたい! こんなこともできるんじゃないか? という方はぜひ舞台上がって、行動に移してみてください」

- 5、2度目の上演。随時観客が手を挙げて舞台上がり、登場人物に成り代わって行動する。
役者は即興でそれに対応する(うまく対応できるように問題を熟知している当事者が演じるのが望ましい)。
はたして、問題は解決するのか、多少はましになるのか、余計ひどくなるのか?



- 6、観ていた観客、演じた観客、それに対応した役者、それぞれの感想を共有し、うまくいった方法からも、うまくいかなかった方法からも、学びを深めていく。
- 7、時間と場の状況を見ながら、5・6を繰り返す、様々な選択肢・可能性を探っていく。

■ファシリテーションの視点から見るフォーラムシアターの特徴

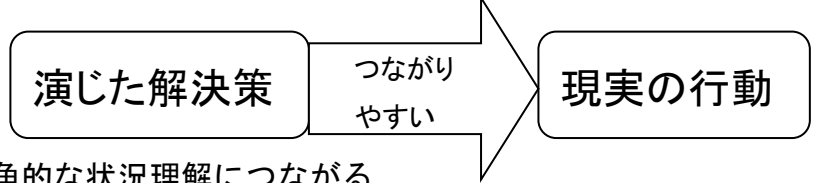
・「見える化」＋「感じる化」

問題が起こっている構図を「見える化」する ＋
 状況を取り巻く様々な立場の人々はどう感じているかを疑似体験・体感しながら事態を把握できるという「感じる化」が特徴。「感じる化」を重視しながら解決策を探っていく。

ファシリテーターは、演じた観客や即興で対応した役者に「どう感じた」かを尋ね、客観的に観ていた観客に「どう見えて」「どう感じた」か聞き、状況の多角的な理解を深めていく



そして、疑似的に行動に移して成功した解決策は、実際に問題が起こっている現場でも行動に移しやすい。実際に現実を変えるのに役立つかもしれない。(現実のリハーサル)



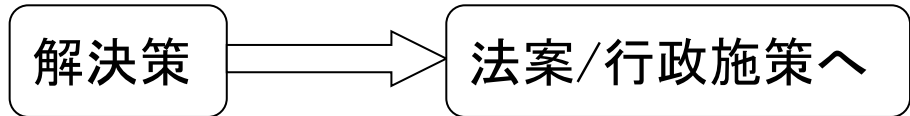
・メリット： 臨場感のある学び・多角的な状況理解につながる

デメリット： 準備（劇づくりも、参加者のウォーミングアップも）に時間がかかる

実際のファシリテーションの現場で演劇的な手法を取り入れるのは時間的・空間的に難しいかもしれない。しかし、立場による感じ方の違いを、想像するだけでなく体感的に理解してもらう方がよい場合は、進め方のオプションとして有効な場面もあると思います。

（劇の形にしなくても、例えば、対立する立場の人たちを対立的な位置に座ってもらうという「構図」を作り、立場の違いを「見える化」・「感じる化」するだけでも、状況の体感的な理解につながると思います。ポアールの手法の中には、複数の人がポーズを取って構図を表現する「人間彫刻」というものもあります）

■フォーラムシアターの応用



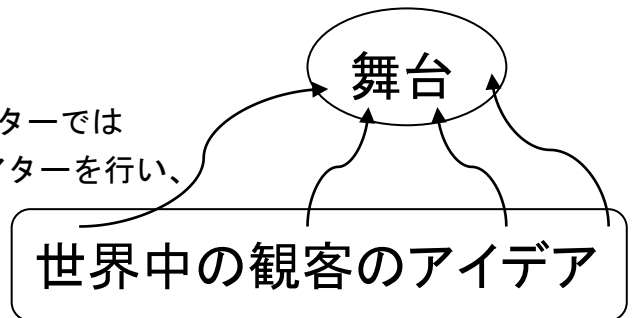
★法律制定（法案起草）演劇

80年代にポアールはリオデジャネイロ市議員になり、様々な地域・グループとフォーラムシアターを行った。そこで導き出された解決策が、法律の制定・改正が必要なものであった場合、必要に応じて法案を起草し、実際にいくつかの法律（条例）制定（ブラジルでは初の犯罪の目撃者を保護するための条例など）に結びついた。

ポアールが議員でなくなっても、世界各地で、議員や弁護士等と連携して、議会や行政に働きかけて法案や行政施策にフォーラムシアターの成果を反映させようという動きがある

★TV・ネットでフォーラムシアター

カナダ・バンクーバーのヘッドラインズシアターでは20年ほど前からTVの生中継でフォーラムシアターを行い、視聴者が電話で参加できるようにした。近年はネット中継を行い、チャットを通して世界中から参加できる形になっている。



（現地にいる役者に、電話やチャットを通して意図を伝え、代わりに演じてもらう形）